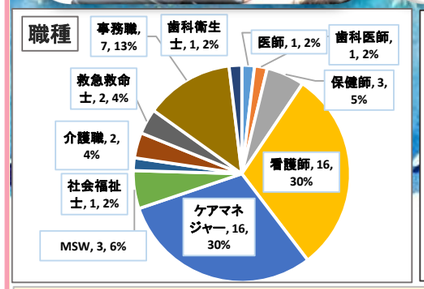
医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。

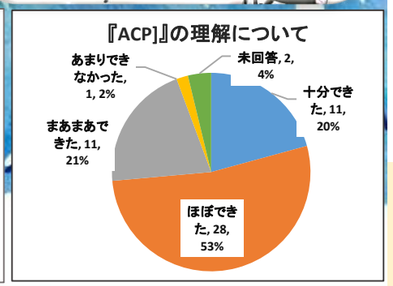
薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターだより

ひ　ま　わ　り

第32号　　令和3年12月
編集・発行　薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター
TEL（代表）0996－53－0326（内380）
（直通）0996－53－4711（FAX兼用）

令和3年度第3回さつまるネット研修会
テーマ：「ACPの実践における倫理的な課題と対応」

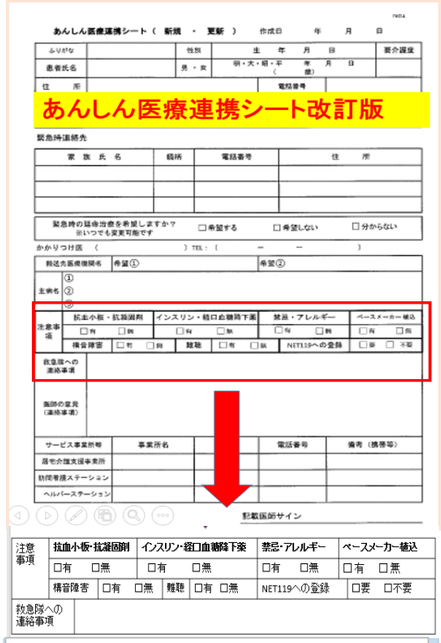




令和3年10月26日（金）令和3年度鹿児島県委託事業「医療・ケア意思決定プロセス支援事業」を受託されている社会医療法人博愛会相良病院顧問の江口恵子先生に「ACPの実践における倫理的な課題と対応」についてご講演頂きました。薩摩郡医師会病院会議室33名、オンライン29名、計62名の方にご参加頂きました。アンケートの「ACPの理解について」は、「十分できた」と「ほぼできた」と答えた方の合計は第1回目の研修より6ポイント増えました。

令和3年度第1回薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会・多職種意見交換会

令和3年11月16日（火）薩摩郡医師会病院会議室に於いて在宅医療推進多職種意見交換会が開催されました。北薩地域振興局より「川薩地域入退院調整ルール」アンケート結果、在宅医療相談支援センターより「あんしん医療連携シート改訂について」、さつま町消防本部より「NET119について」情報提供いたしました。意見交換では、「多職種による退院時カンファレンスをオンラインで開催できるか」「在宅療養患者貸出医療機器について」「在宅医療介護連携における困り事等について」をテーマにたくさんのご意見を頂きました。会場32名、オンライン12名、計44名の方にご参加頂きました。職種別（医師10名、歯科医師1名、看護師4名、訪問看護師3名、MSW3名、介護支援専門員8名、理学療法士1名、包括2名、行政6名、その他3名、事務局3名）ご参加下さいました皆様有難うございました。

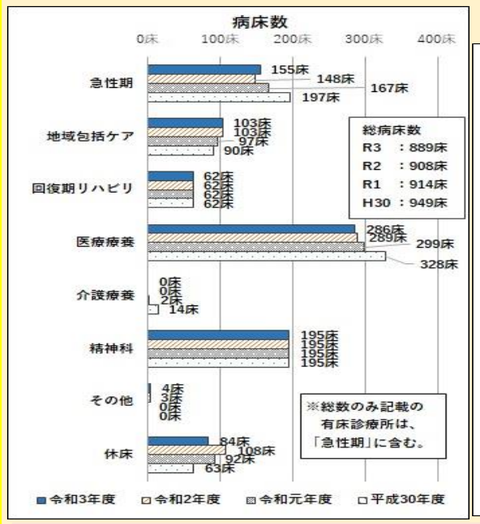


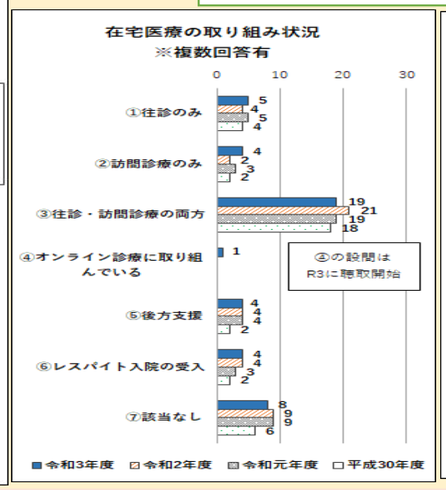
構音障害、難聴の有無、NET119への登録、救急隊への連絡事項の項目が追加されました。「あんしん医療連携シート」は薩摩郡医師会のホームページよりダウンロード可能です。

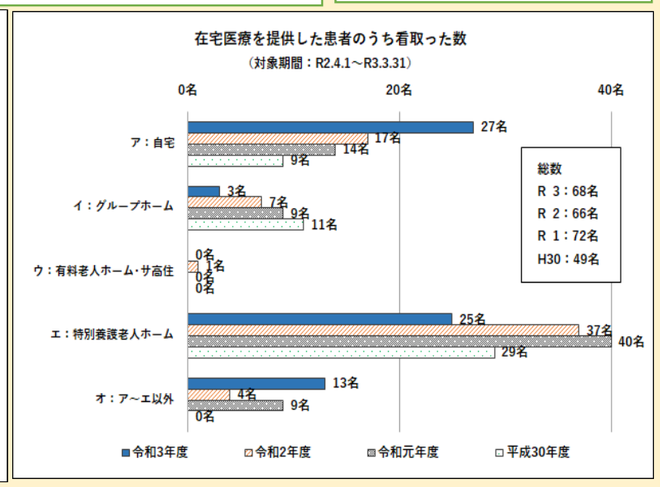
令和3年度在宅医療提供状況調査結果（一部抜粋）

薩摩郡医師会圏域
医療機関数：36箇所（R2:37箇所、R1:39箇所、H30:37箇所）
回答数：36箇所　　回答率：100%

令和3年8月実施
基準日：令和3年8月1日現在







医療機関数は1クリニックの閉院により36箇所となりました。総病床数は、有床診療所1箇所の病棟閉鎖に伴い、19床減少しています。
往診・訪問診療の両方に取り組んでいる医療機関が前年度と比較し2件減少し、訪問診療のみが2件増加しました。今年度から質問していますオンライン診療につきましては、1医療機関が取り組んでいると回答されています。在宅医療の取り組みを行っていないと回答された医療機関は1件減少しました。
看取りにつきましては、自宅での看取りが前年度と比較し10名増加、施設での看取りはグループホーム、特養ともに減少しています。

令和3年度第1回川薩地区
在宅医療推進リーダー会議

令和3年10月12日川内看護専門学校会議室17名オンライン参加13名、計30名の委員出席のもと開催されました。令和3年度在宅医療・介護提供状況調査結果報告を行った後、「令和4年度在宅医療・介護提供状況調査内容について」、「高齢者施設および障害者施設における看取り等の現状調査内容について」「コロナ禍における各事業所の取り組みについて」協議して頂きました。調査結果については、大事な資料であるため分析を行い、今後の活動に生かしてほしいとのご意見を頂きました。

≪センターより≫
新型コロナウイルスも感染者数は減少しましたが、変異株の発生もあり、日常生活や事業活動も制限が続いています。そのような中ではありますが、皆様方のご協力により今年度は研修会や意見交換会等も開催することができました。本当に有難うございました。来年も引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。寒さが厳しくなってまいりました。お身体大切によいお年をお迎えください。